

研究に関する情報公開

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者[※]の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

<p><研究課題名> 活動性がん合併脳梗塞の臨床的特徴と再発に関する研究</p>
<p><研究機関・研究責任(代表)者名> 大阪大学医学部附属病院 脳神経内科(研究責任者) 権 泰史</p>
<p><研究期間> 実施許可日 ~ 西暦 2032年3月31日</p>
<p><対象となる方> 実施許可日~西暦 2027年2月28日の期間、当院で脳梗塞診療を受けられた方のうち、活動性のがん[※]を合併していた方 [※]がん診断から6ヶ月以内(治療・未治療問わず)、何らかのがん治療を受けている、もしくは再発性・転移性がん</p>
<p><研究の目的> 活動性がんを合併した脳梗塞患者さんの臨床的特徴と脳梗塞の再発を含めた予後を明らかにすること。</p>
<p><研究の方法> 診療をした際の記録や検査結果をもとに統計学的解析を行います。</p>
<p><研究に用いる試料・情報の項目> 診療の過程で得られた情報、検査データ、画像データを用います。項目は下記の通りです。 ○基本情報:年齢、性別、身長、体重、発症前 modified Rankin Scale(mRS)、発症前 performance status(PS)、既往歴・併存症(高血圧、糖尿病、脂質異常症、心房細動、喫煙歴、飲酒歴、脳卒中、虚血性心疾患、静脈血栓塞栓症)、発症前治療薬 ○がん情報:がん種、がんステージ、がん治療、遠隔転移、腺がん ○脳梗塞情報:重症度(NIHSS)、病変部位、病変数、塞栓源、急性期再開通療法、発症後治療薬 ○画像検査:MRI、CT、MRA ○血液検査:ヘモグロビン、血小板数、CRP、アルブミン、Dダイマー ○発症90日までの脳梗塞再発、出血性合併症 ○発症90日後の情報:mRS、PS</p>
<p><外部への試料・情報の提供の方法> 個人の特定ができないように処理した上で、許可された者しかアクセスできない機密性の高いクラウドストレージ(インターネット経由で電子データを保管・管理する場所)で共同研究機関と上記情報を共有します。</p>
<p><試料・情報の提供を開始する予定日と、提供を行う機関およびその長の氏名> 京都第二赤十字病院 院長 魚嶋 伸彦の許可の下、実施許可日~西暦 2032年3月31日の期間、下記の共同研究機関に提供をします。</p>
<p><外国にある者に試料・情報を提供する場合> 外国には提供しません。</p>

<研究を実施する機関組織>

代表研究機関:大阪大学医学部附属病院、研究代表者:権 泰史

共同研究機関:下記の16施設

<お問い合わせ窓口>

京都第二赤十字病院 (〒602-8026 京都市上京区春帯町 355 番地の5)

担当者:脳神経内科 永金義成

電話:075-231-5171 (代表)

※研究対象者とは、以下に該当する方を指します。

- ①研究を実施される方
- ②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方

共同研究機関リスト

No.	研究機関名	研究責任者	
		所属	氏名
1	杏林大学医学部附属病院	脳卒中科	河野 浩之
2	筑波大学附属病院	脳卒中科	早川 幹人
3	順天堂大学医学部附属浦安病院	脳神経内科	山城 一雄
4	自治医科大学附属病院	脳神経内科	藤本 茂
5	広島大学病院	脳神経内科	柘津 智久
6	大阪急性期・総合医療センター	脳神経内科	坂口 学
7	NTT東日本関東病院	脳神経内科	神谷 雄己
8	熊本大学病院	脳神経内科	中島 誠
9	千葉大学医学部附属病院	脳神経外科	吉田 陽一
10	京都府立医科大学附属病院	脳神経内科	尾原 知行
11	東京女子医科大学病院	脳神経内科	藤堂 謙一
12	昭和医科大学江東豊洲病院	脳神経内科	栗城 綾子
13	日本医科大学付属病院	脳神経内科	須田 智
14	日本医科大学武蔵小杉病院	脳神経内科	鈴木 健太郎
15	日本医科大学多摩永山病院	脳神経内科	齊藤 智成
16	京都第二赤十字病院	脳神経内科	永金 義成